



◆満十歳になった

妻木城址の会

会長 奥村 孝二

城址の会が発足し、昨年の秋で満十歳の誕生日を迎えることが出来ました。これも偏に会員の皆様を始め、地域住民の皆様方のご理解、ご協力の賜でございます。

ここに慎んでお礼申し上げますとともに今後一層のお力添えをお願い申し上げます。

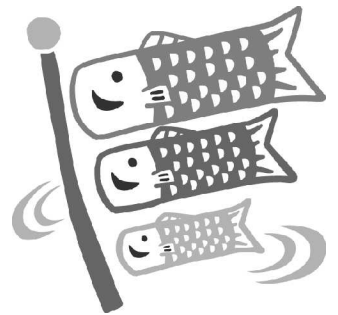
私ども会員は、発足当時から活動目標である「歴史的風土の後世への継承」を常に心に留め、今日まで地道な活動を続けてまいりました。

今後とも今までと同様「妻木城跡の保存活動」と「しろやま展示室の充実」の二本柱を日常活動の中心に据え、その他いろいろな活動を展開していく所存でございます。

そのことが、地域の皆さんにとって歴史・文化の町としての誇りが持

第20号

編集 妻木城址の会  
〒509-5301  
土岐市妻木町3051-1  
八幡神社社務所内  
☎0572-57-6441



て、真に住みよい町である実感で  
きることに繋がればと願っています。  
一人でも多くの方に会員になって  
いただき、ご協力戴けることを願  
い申し上げます、挨拶いたします。

◆研修旅行のご案内

期日 六月十日(土)

午前七時出発予定

場所 信州松代城と

真田家の史跡を訪ねて

会費 六〇〇〇円

(多少上下いたします)

今年、長野市松代を訪ねます。

松代は、関ヶ原合戦の直前に兼山城主(可児市)森忠政が、家康の命により城主となりました。当時妻木氏は森忠政の配下でありましたので、当然一緒に松代へ移るものだと考えていたようです。ところが家康の指示は、森忠政と入れ替わって岩村城主

松代城大手門



となつた田丸氏が西軍石田方に味方したことにより、東濃地方唯一の東軍徳川方として、妻木に残ることに  
なりました。松代に入り真田氏と戦つた森氏の軍勢の中には、妻木氏や多治見の若尾氏の名前が見られます。森忠政が松代城にいたのは三年間でしたが、二の丸、三の丸の工事を行ったといわれます。その後岡山県津山へ転封となりました。  
忠政以後めまぐるしく城主が変わりましたが、真田信之の入城以後、明治維新まで真田家十萬石の城下町として栄えました。

熊は、真田信之の妹を妻に迎えてい  
ます。また下郷妻木家からは真田の  
分家へ養子を出しています。なぜ真  
田と妻木が結ばれたのか定かではあ  
りませんが、松代という町が身近に  
感じられます。

現在、松代城は発掘調査が行われ、  
当時の姿が再現されつつあります。

研修旅行はどなたでも参加できま  
すので、お早めにお申し込み下さい。

申込先 城址の会事務局（八幡神社）  
五七・六四四一  
妻木公民館 五七・四五六四

### ◆平成十七年度の事業

#### □城山八幡神社の例祭

五月十四日に城山の山頂に鎮座す  
る城山八幡神社の例祭が、地元上郷  
地区役員と妻木城址の会役員が参列  
して行われました。

城山八幡神社は城の守護神として  
建立され、武運長久・子孫繁栄を願  
ったといわれます。

境内地には明治時代建立の鳥居や  
灯籠などがあります。

また、三の曲輪からは妻木町はも  
とより、昨年開通した東海環状自動  
車道も眺望できます。

#### □妻木城主慰霊法要

九月九日、崇禪寺に於いて、崇禪  
寺総代及び関係者と妻木城址の  
係者の役員、参集のもと、妻木  
城主（崇禪寺殿満春栄大禅定門）  
の慰霊法要が崇禪寺住職様の  
読経により厳かにとりおこな  
われました。



#### □道標の設置

永年の懸案であった妻木城跡への  
道標をやつと設置することができま  
した。



城跡への登山道が二つあって、一  
つは県道足助線の途中から柿野方面  
へ向かって右に折れ、本城林道から  
登っていくコース（自家用車で行く  
ことができる）です。もう一つは、  
御殿跡から二十五分ほどかけて登っ  
ていく絶好の登山コースです。

それぞれコースのポイントに道標  
を設置いたしましたので初めての方  
でも迷わず城跡に辿りつくことが  
できると思います。

近々、池の辺りと一の曲輪にベン  
チを取り付けようと計画しています。

#### □手作りの鎧作り教室

もう七・八年目になるでしょうか  
毎年五月の節句が過ぎた頃から秋口  
までかけて土岐市在住の親子を対象  
に鎧兜作り教室を開催してまいりま  
した。

本年も計画いたしておりましたので  
よろしかつたらぜひ参加してみたく  
ださい出来上がった鎧兜を身にま  
たい、八幡神社の祭日に妻木小学  
校から神社までの行列姿は妻木町  
の一つの風物詩になるうとしていま  
す。三年ほど前から、幼稚園児も  
親子で鎧を作り、祭りの日に行列に  
参加するようになりました。火縄銃  
の鎧作りを先頭になり、可愛い園  
児たち、鎧作り

#### 幼稚園児の行列



よろいかぶと教室



教室の親子さんが八幡神社に着すると、流鏝馬がスタートする運びになっていきます。今年度は、十月八日に予定されています。ぜひ一度ご覧いただければ幸いです。

火縄銃の実演



□ 思い出に残った

ふるさと講座や歴史散策

昨年「ふるさと講座六回」と「歴史散策」が城址の会主催で開催されたことができました。講師は、城址の理事の黒田さんです。

昭和は遠くなりけり！ 戦前のことがはつきりわかっている人が本当に少なくなくてきています。例えば、私たちの大事な足であった東濃鉄道駄知線に乗ったことのある人は、まだこの世で大勢精力的に活躍して見えると思います。その汽車が始め、もう走った大正十一年に乘られた方は、もう数えるぐらいしか見えないと思います。そんな駄知線がどうしてここに引かれたのか。何時どうして無くなったのか。何時どうして無くなったのか。四十歳前後の人には、もう歴史になっていっていると思います。

何でもいいから書き留めたり、写真に撮ったり、物で残せるものは残しておくことの大事さを痛感した講座でした。

勿論、妻木城に関わる歴史は何時聞いても楽しい限りです。

歴史散策では、貴法院跡や八幡院跡が何処で、いつの時代にだれによって建てられたのか、又どうして姿を消してしまっただのかなどを現地に分かりやすく説明していただき、妻木町の歴史を垣間見ることができ、とても有意義な散策でした。町角などで常夜灯や二十二夜碑などを目にする機会があります。いつ頃かという意味でそこに立てられたのかなどを知られることによつて当時の世相を知ることができ、歴史散策もぜひ毎年続けてほしいと思っております。

□ 歴史探訪散策トリップ後記

『奥三河、田峰城を尋ねる』

第三回目は田峰城から長篠城と設楽ヶ原を尋ねる行程でした。

恵那市の山岡、上矢作を経由した山道で参りました。戦国の世、徒歩騎馬での山越えは大変だったろうと思える道筋でした。道中黒田氏の田峰に関する歴史逸話を聞きながらの車中、気がつけば豊田市も過ぎあつ

と言う間の一時間半の経過。いい雰囲気。散策の旬日前「菅沼氏と妻木氏・田峰城と妻木城」という題目で城址の会総会で設楽町文化財保護審議会長の今泉宗男先生に講演を頂いていましたので、それなりに知識を持ってまいりました。

奥三河の鬱蒼とした緑に囲まれた田峰城につき、今泉先生より田峰の盛衰について説明を受け、戦国の世の血族、一族が血を血で洗う凄惨な物語をききました。

妻木城より逃れて、母に抱かれて彷徨い歩き、縁をたよりに沼田土岐氏の先祖が此処に一時の安堵を得、現在に至るとの事、運命とはこんなものかと感じました。三河三観音の一つの田峰観音にも参りました。アメリカ公演もする子供歌舞伎の逸話も聞き、山菜料理の「大変美味しい昼食（本当に旨かった）」を取り長篠に着きました。

誰が雨男

（女）？、ま たも降りにか かつた。設楽 ヶ原は雨のな かバスの窓よ り見るだけ、 長篠城は傘を さしての見 学、でも今泉 先生のお陰で



田峰城

納得のいく見学が出来てよかったです。思っています。

帰り道、少し時間の余裕が出来たので黒田氏の案内で三河一宮「砥鹿神社」の参拝ができた。

例祭には妻木とは違った流鏝馬が奉納されるよし、見学の価値ありとの話。

ともかくにも、全員無事元気で帰路につき、来年のトリップに夢を抱きつつ終了。

## 総会のお知らせ

講演会及び総会のご案内

平成十八年の総会を次の日程にて行います。

期日 五月二十八日(日)

場所 妻木公民館

歴史講演会 午後一時より

総会 午後二時三〇分頃より

会員外の方も入場出来ますので、お誘い合わせの上お出かけ下さい。

講演演題 「美濃・中世の城について」

講師 石塚 晋一先生  
(元岐阜県中世城館跡総合調査調査員)

岐阜県に行った総合調査の調査員として、あちこちの城跡を歩かれた石塚先生に、この地方の城跡について

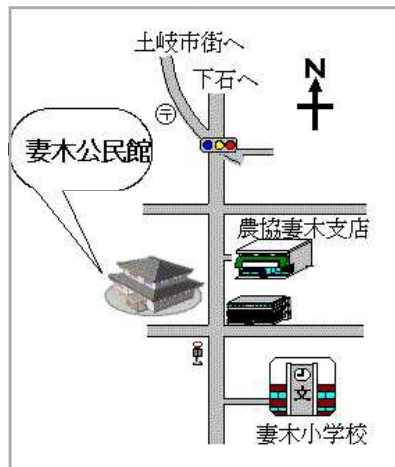
てわかりやすくお話ししていただき  
ます。

妻木城御殿跡前にある「妻木城復元想像図」は、石塚先生に制作をお願いしたものです。

大変わかりやすいお話しですので、お誘い合わせの上お出かけ下さい。

会員外の方も来場できます。

妻木公民館への概略図



### ◆平成十八年度事業

#### 一、城山美化整備事業

- 史跡指定地の草刈作業、雑木・枯木の伐採
- 登山道の整備、ベンチ等の設置、マップ入れの改修

#### 二、妻木公民館郷土資料室に

関する事業

- 資料収集と管理、展示室の改善
- 展示室の充実、文化財展(秋の特別展)の実施

○ 歴史調査ボランティア(仮称)の募集

#### 三、手作りよろいづくりと

火縄銃の実演について

- 手作りよろい教室 五月十三日から7回(妻木公民館)
- 妻木小付属幼稚園親子手作りよろい教室 六月十一日
- 火縄銃の実演及びよろい行列 十月八日流鏝馬にあわせて実施

#### 四、講演研修及び普及活動

- 講演会 五月二十八日 講師：石塚晋一先生
- 研修旅行 六月十日 長野県松代
- 文化財展の実施 十一月三日～五日
- 小冊子、マップの作成
- 機関誌の発行
- ホームページの開設準備
- 郷土史講座六回・歴史散策一回を予定

### ◆新年度会費納入のお願い

同封の振込用紙での納入、または直接ご持参下さい。

会費は妻木城の下刈り作業や文化財展の実施などの経費に充てられています。

ぜひ会員の継続や加入をお願いいたします。

年会費は3000円です。

